

学校教育目標



須和田が丘

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒

令和4年度
学校だより No. 28
令和4年10月7日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

自由進度学習について 3

自由進度学習の今後の方向、改善策についてご説明いたします。

新しい学習指導要領では、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うとされています。そこで、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得」に焦点を当て、実力テスト（2年生数学）の結果をしてみると、生徒の実態は大きく3つのグループに分けられることが分かりました。

1つ目は確実に習得されているグループ、2つ目は、習得はされているが、まだ確実とは言えないグループ、そして3つ目は、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が必要となっているグループです。

そこで、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行い、「個に応じた指導」の充実を図るために、「習熟度別学習（授業）」の枠組みを組み合わせ、改善を図ることとしました。

習熟別学習（授業）とは、習熟（習得）の早さでグループを分け、それぞれの実態に合わせた学習（授業）を行う教育方法です。

そこで3つのグループを以下のような授業形態に分け、指導を進めてまいります。

○基礎基本が確実に習得されているグループ

・基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得されており、自己調整能力も高まっていると認められます。このことから、自由進度学習を継続します。

○基礎基本が習得されているが、まだ確実とは言えないグループ

・基礎的・基本的な知識及び技能は習得されていますが、まだ確実とは言えない状況が認められます。このことから、確実な習得を図るために、一斉授業（これまでの授業）と自由進度学習を組み合わせで行います。一斉授業で基本的な内容を指導し、自由進度学習では、友達との協働的な学びを支援します。教材は教科書を基本とします。

○基礎基本の習得が必要なグループ

・基礎的・基本的な知識及び技能の習得が不十分な状況が認められます。このことから、習得を図るために、一斉授業（これまでの授業）と自由進度学習を組み合わせで行います。一斉授業では、基本的な事柄を指導し、自由進度学習では、個別の進度に沿って学び直しを支援し、今の学年で学ぶ内容につなげてまいります。教材は、その単元に沿った基本的なプリントなどを使用します。

詳細につきましては、担当教員から子供たちに説明があります。保護者の皆様におかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

二中フェスティバルについて

10月21日（金）に「二中フェスティバル」が開催されます。

今回の二中フェスティバルは、発案、企画の段階から生徒が主体となって進めており、まさに、生徒の、生徒による、生徒のための行事と言えます。そういった活動を通して、生徒一人一人の主体性を育み、自己肯定感・自己有用間の向上に努めてまいりたいと思っています。

なお、全校生徒が体育館に集まって実施する方向でありますことから、感染防止対策を考慮し、保護者の皆様の参観は行いませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

また、コロナ禍前に行ってございました須和田祭につきましては、今回の「二中フェスティバル」の結果を踏まえ、今後の方向性を検討してまいりたいと考えています。